

ペトロラタム系防食テープNo.59シリーズ関連材料一覧表



区分	機能	品名・品番	仕様・規格	標準使用量	特長・用途
主材料	防錆・防食テープ	No.59L (1種) No.59H (2種)	厚さ × 幅 × 長さ・入数 (mm) (mm) (m) ・ケース 1.1 × 50 × 10・36巻 1.1 × 100 × 10・18巻 1.1 × 150 × 10・12巻 1.1 × 200 × 10・8巻 1.1 × 300 × 10・6巻 重量：1.4kg/m ² 当たり	—	●埋設部、没水部などに使用できるペトロラタム系防錆・防食テープ ●配管、機器、タンク類の防錆・防食用 ●昭54/8月、消防危-第90号指定品 内容（埋設配管の防食にNo.59を半重ね巻きし、その上をNo.51で保護巻きをすることが必要です。） ●平成19年版国土交通省「機械設備工事共通仕様書」適合品 ●JIS Z 1902適合品
		No.59HN (難燃性)	—	●No.59Hの特性に難燃性を付与したものの ●昭51/9月、消防危-第57号-難燃性基準の適合品 ●コンビナートなど特別防災地区の防錆用	
		No.59HT (高温用)	—	●高温配管、機器、タンク類の防錆・防食用	
		No.59HHT ※ (高温用)	—	●高温配管、機器、タンク類の防錆・防食用	
		No.59 (2.2mm) ※ (厚手品)	厚さ × 幅 × 長さ・入数 (mm) (mm) (m) ・ケース 2.2 × 1,000 × 5・2巻	—	●鋼矢板など海洋鋼構造物の防食用
補助材料	下塗り材	No.59P	30袋/1ケース 1袋：500g入り	約200~300g/m ²	●防錆効果のある下塗り材 ●没水部以外のテープの下地に必ず使用 ●JIS Z 1903適合品
		No.59PW (没水部用)	5缶/1ケース 1缶：3kg入り	約300~400g/m ²	●没水部、湿潤部専用下塗り材 ●水置換特性により没水部で鋼材表面に密着し水を排除してテープとの組み合わせで没水部での防食効果を高める。
		No.59ペーストテープ (テープ状・没水部用)	厚さ1.0mm 幅と長さはNo.59Hと同じ	—	●No.59PWをテープ状にしたもの ●没水部、湿潤面の下塗りがテープ巻きでできます。 ●水中鋼管杭の防食下塗り用
		ニトプライマーAF	10缶/1ケース 1缶：1kg入り	約200g/m ²	●コンクリートやモルタル面に使用する下塗り材 ●テープの接着性を向上させます。
	充てん材	No.59M (ブロック状)	厚さ × 幅 × 長さ・入数 (mm) (mm) (mm) ・ケース 50 × 190 × 270・8個 重量：3kg/1個当たり	—	●防錆効果のある粘土状の充てん材 ●フランジ部など異形部の隙間充てん用
		No.59MN (ブロック状・難燃性)	—	—	●特長・用途はNo.59Mと同じ ●昭51/9月、消防危-第57号-難燃性基準の適合品
		No.59MS (シート状)	厚さ × 幅 × 長さ・入数 (mm) (mm) (mm) ・ケース 7 × 250 × 400・20枚 重量：900g/1枚当たり	—	●特長・用途はNo.59Mと同じ ●タンクの裾廻り防錆用に最適
	埋設用保護材	防食用ビニルテープ No.51 (黒色)	厚さ × 幅 × 長さ・入数 (mm) (mm) (m) ・ケース 0.4 × 50 × 10・50巻 0.4 × 75 × 10・40巻 0.4 × 100 × 10・30巻	—	●防食用ビニルテープJIS Z 1901認定品 ●消防危-第90号による埋設配管防食用マスチックテープNo.59の保護用テープ指定品
		防食用ビニルテープ No.51SG (シルバーグレー色)			
		防食用ポリエチレンテープ No.55			

※No.59HHT及びNo.59 (2.2mm) は特注扱いとなります。

ペトロラタム系防食テープ No.59 シリーズ



注意 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。

- 本製品を品質保証、製造している当社豊橋事業所は環境マネジメントシステム ISO14001の登録工場です。
- 本製品は、ISO-9001 (JQA-0454, BSI-FM-28540) の認証を取得した当社豊橋事業所にて品質保証、製造しています。
- このカタログの内容は、2009年3月現在のものです。

日東電工株式会社

〒141-0032 東京都品川区大崎1丁目11番2号 ゲートシティ大崎イーストタワー10F URL: <http://www.nitto.co.jp>
 TEL:0120-112-387 FAX:03-5740-2251
 カタログコード:11190 2009年3月発行



8611F30
0806R20
0903R20

Flexible
Technology
Company

異形部の防錆・防食に どんな形状にも密着するペトロラタム系防食テープNo.59シリーズ

鋼管や鋼構築物のサビは、そのまま放っておくと、大きな被害を招きます。資源・エネルギーの節約のために、わずかなサビでも確実に防ぐ必要があります。防錆・防食の適材適所にお応えする日東電工では、こうした鋼管・鋼構築物の異形部の防錆・防食施工に、No.59シリーズをお届けしています。No.59シリーズは、石油から作られるペトロラタムを主成分としたコンパウンドを不織布に染み込ませたもので、柔軟性に富み、どんな形状のものにもピッタリ密着します。巻き付けてなでつけるだけ、または、貼り付けてなじませるだけの手軽な作業で、すぐれた防錆・防食層を形成します。



すぐれた防錆・防食効果を発揮

- 金属表面から水分と空気を遮断します。
- 防錆・防食用ペトロラタムが赤錆を黒錆に変えて安定させます。
- 耐薬品性にすぐれているため、酸、アルカリ、バクテリアによる腐食を防ぎます。
- 密着力の良いペトロラタムが、蒸発や硬化することなく、常に粘性をもって防錆・防食層を形成します。

施工が簡単

- 特別な熟練が必要ありません。
- どんな複雑な形状にもピッタリ密着します。
- 加熱を必要としません。巻き付けてなでつけるだけで防食層をつくることができます。
- 作業時間が短縮されます。

一般特性

項目	単位	測定値					
		No.59L	No.59H	No.59HN	No.59HT	No.59HHT	No.59 (2.2mm)
厚さ	mm	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	2.2
重さ	kg/m ²	1.4	1.4	1.5	1.4	1.4	2.8
伸び	%	15	15	15	15	11	15
吸水率	%	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
引張強さ	N/25mm幅	78	78	78	78	127	78
粘着力*1	S	60以上	60以上	60以上	60以上	60以上	60以上
体積抵抗率	Ωcm	10 ¹⁴	10 ¹⁴	10 ¹⁴	10 ¹⁴	10 ¹⁴	10 ¹⁴
耐熱流下温度	℃	+55	+65	+65	+90	+125	+65

*上記数値は測定値の一例であり、保証値ではありません。

用途に合わせて5タイプ

No.59L, No.59H

埋設部、没水部など。

No.59HN

難燃性の必要な場所に。消防庁昭和51年9月発行の消防危-第57号の難燃性基準の適合品。

No.59HT

耐熱性を必要とする高温部に。耐熱流下温度90℃

No.59HHT

耐熱性を必要とする高温部に。耐熱流下温度125℃

※耐熱流下温度は、コンパウンドの滴下温度を示します。

No.59 (2.2mm)

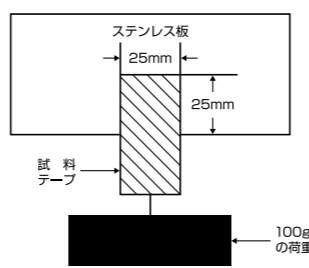
鋼矢板などの海洋鋼構造物の防食に。

主な用途

- パイプなど(直管はもちろん、フランジ、エルボ、T管など)
- 複雑な形状の鋼構築物
- 海洋鋼構築物の海水帯、干満帯などには、水中用ペーストを下塗り後、テープ巻きが可能。適切な保護カバーを施せば、長期的な防錆・防食被覆を形成できます。

*1 粘着力試験方法

試験温度20℃でステンレス板に25mm×25mmの試料を貼り合わせ、5kgローラーにて1往復させた後、100gの荷重をつるし、落下までの時間を測定する。



施工手順



1 下地の清掃
バリ、サビを落とし、ほこり、水、油を除きます。



2 下塗り材の塗布
下塗り材としてペーストを塗布します。



3 充てん材の挿入
凹凸のある部分は充てん材で埋めます。



4 テープ巻き
テープを少し引っ張り加減に、ハーフラップで巻き付けます。その後、テープを手でなでつけ、十分に密着させます。



*埋設時の保護テープ巻き

埋設時には保護用として防食用ビニルテープ (No.51) または防食用ポリエチレンテープ (No.55) を上巻きします。

使用上の注意

- ペトロラタムは有機溶剤に溶けます。有機溶剤にふれる恐れのある個所には使用しないでください。
- 上塗り塗装を行う場合は、特性をよくご確認の上、実施してください。

各種仕様認定品

No.59L, 59H・防食用ビニルテープNo.51は、JIS規格適合品です。また、No.59L, 59H・防食用ポリエチレンテープNo.55は、平成19年度版「機械設備工事共通仕様書」に適合しています。

No.59シリーズは、 こんな所に使われています。



●埋設タンクの外面防食



●海洋鋼構築物の防食



●タンク裾まわりの防食



●冷却水用埋設鋼管の防食